

無限 MUGEN

60100-XPC -KOSO AERO BONNET

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書をよくお読みになり、お取り付けくださいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

お取り付けの前に

- ・ 開梱後は、構成部品表を参照し梱包物に不足や破損がないことを確認してください。
- ・ 取り付け前に、適合車種を確認してください。

〈適合車種〉

Super-ONE ZAA-JG6

N-ONE e: ZAA-JG5

〈色記号〉

無限色	ホンダ色記号	色名
ZZ	—	未塗装

- ・ 本製品の改造、取り付け不良、誤使用により発生した不具合や事故等について弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についてのご質問やご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

株式会社 M-TEC 商品事業部

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

営業時間 10:00～12:00, 13:00～17:00 (土日・祝日・弊社指定定休日を除く)

■ 安全上のご注意

取り付け作業者および使用されるお客様が傷害を負う可能性があることや、取り付け作業に関するアドバイスなどを下記の表示を使用し説明しています。

▲ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

▲ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

▲ 注意

指示に従わないと、傷害を負う可能性があるもの

アドバイス

車両または製品の故障や破損を防ぐためのアドバイス、知っておいていただきたいこと



禁止事項

■ 取り付け作業者および使用されるお客様へのご注意

▲ 警告

- ・ エアロ ボンネットが事故や接触により破損や変形した場合は、ただちに交換するか取り外してください。そのままの状態での走行は、事故発生の原因となる恐れがあります。

アドバイス

【FRPゲルコート仕上げ製品の特性】

FRPゲルコート仕上げの製品は複雑な形状を製造するのに適した製品です。そのためABS、PPE樹脂製塗装済み製品とは取り扱い方が異なります。車両や製品の個体差等により塗装前にフィッティングの確認、取り付け穴などの修正および製品表面の面出しや製法上発生する傷などの修正等の下地処理が必要となりますので予めご了承ください。

- ・ 塗装の前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けが出来ることを確認してください。
- ・ 取り付け穴および車両部品とのフィッティングの調整を行ってください。車両や製品の個体差等で修正が必要になる場合があります。
- ・ 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修や修正跡、ゲルコート表面の細かい凹凸があります。塗装前に必ず下地処理を行ってください。
- ・ ゲルコート仕上げ状態のままでは使用出来ません。製品を確認のうえ、面出し作業や足付け作業などの下地処理を行い塗装を行ってください。特に、割型面部はピンホールが発生しやすいため、必要に応じてパテ修正、面出し等の下地処理を行ってください。
- ・ 製法上、FRPゲルコート仕上げ製品はABS、PPE樹脂製塗装済み製品と同等の面品質が出ない場合がありますので予めご了承ください。
- ・ 乾燥は、常温乾燥を推奨いたします。強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する場合がありますのでご注意ください。
- ・ その他につきましては塗料メーカーの取扱説明書に従い、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- ・ 本製品の取り付け、純正部品の取り外しおよび取り付けは、サービス マニュアルと本書に従ってください。また、作業はホンダ デイラーや自動車整備工場で行ってください。
- ・ 自動洗車機での洗車は避けてください。エアロ ボンネットに無理な力が加わり、破損の原因となる恐れがあります。
- ・ モーターに高負荷をかけての走行後は、停車後しばらくはクーリング ファンを作動させエアロ ボンネットを開けておく等、エアロ ボンネットが高温になり過ぎないようにしてください。
- ・ 走行後はドレイン ダクトが高温になっている場合がありますので、火傷にご注意ください。
- ・ パワー システムが起動している状態でドレイン ダクトに手や工具を入れないようご注意ください。
- ・ パワー システム起動時にはドレイン ダクト付近にゴミや異物がないことを確認してください。ゴミや異物が入っていると車両破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・ エアロ ボンネットを閉める際は、少し浮かせた状態から手を放し、落とすようにして閉めてください。ストライカー上部を押して閉めるとエアロ ボンネットが割れる可能性がありますのでご注意ください。
- ・ 定期的に締結部品のゆるみやガタ、両面テープの剥がれがないことを点検し、取り付け状態を確認してください。

■ 構成部品表

No.	部品イメージ	部品名称	数量	備考
①		エアロ ボンネット	1	
②	 表裏識別シール	左メッシュ	1	表裏識別シールがある面が表面です
③	 表裏識別シール	右メッシュ	1	表裏識別シールがある面が表面です
④		ドレイン ダクト	1	
⑤		ストライカー	1	
⑥		クリップ	7	
⑦		フランジ ボルト (M6×15 mm)	4	
⑧	 ご案内	WEB取説ご案内シート	1	

必要工具/用具

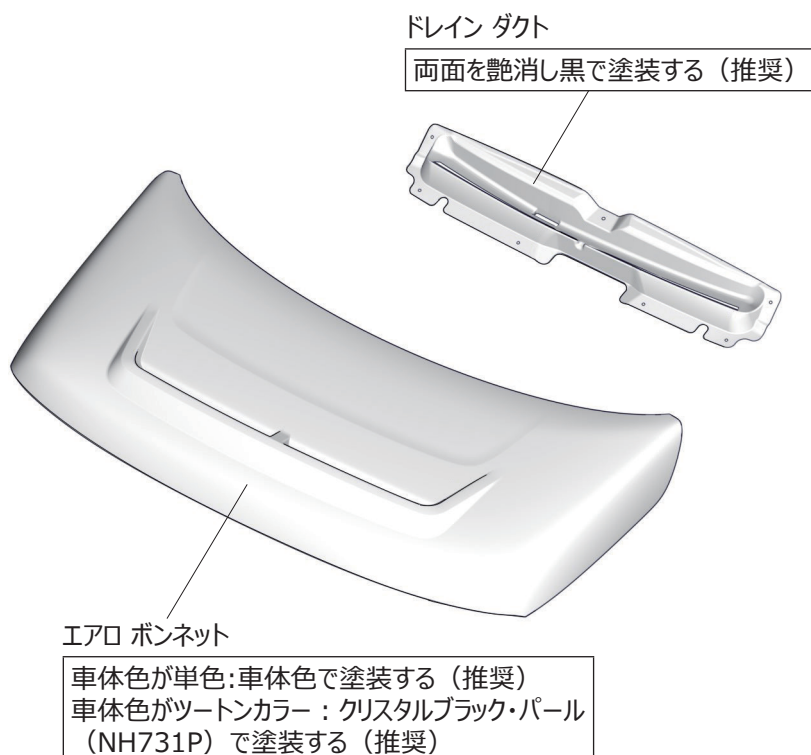
- ・ ラチェット レンチ
- ・ ソケット レンチ 10 mm
- ・ ラジオ ペンチ
- ・ トルク レンチ
- ・ タッチアップ ペイント
(ボディ同色)

エアロ ボンネットの塗装

1. エアロ ボンネットとドレイン ダクトを塗装する。

アドバイス

- ・ 乾燥は、常温乾燥を推奨。
【推奨塗料】2液性アクリル ウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）
- ・ 強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する可能性があるため、注意すること。
- ・ 塗料メーカーの取扱説明書に従い有機溶剤中毒及び引火事故等の危険防止に努め、作業を行うこと。
- ・ 遠赤外線機でのスポット乾燥は行わないこと。
- ・ 製品ラベルにマスキング テープを貼り付けてから塗装すること。



■ 車両部品の取り外し

アドバイス

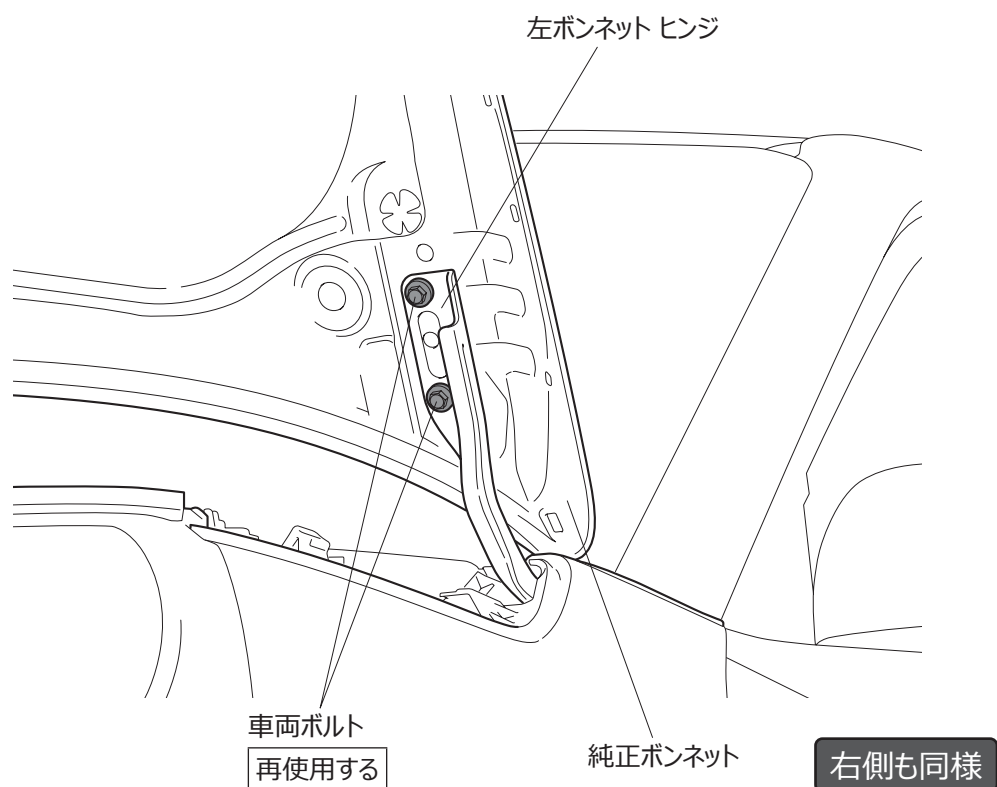
- ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・ ケガ防止のため、保護具等を着用して作業を行うこと。

2. 純正ボンネットを取り外す。

アドバイス

- ・ 車両ボルトは再使用するため、紛失や破損に注意すること。

〈裏面図〉



エアロ ボンネットの取り付け

アドバイス

- ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・ ケガ防止のため、保護具等を着用して作業を行うこと。

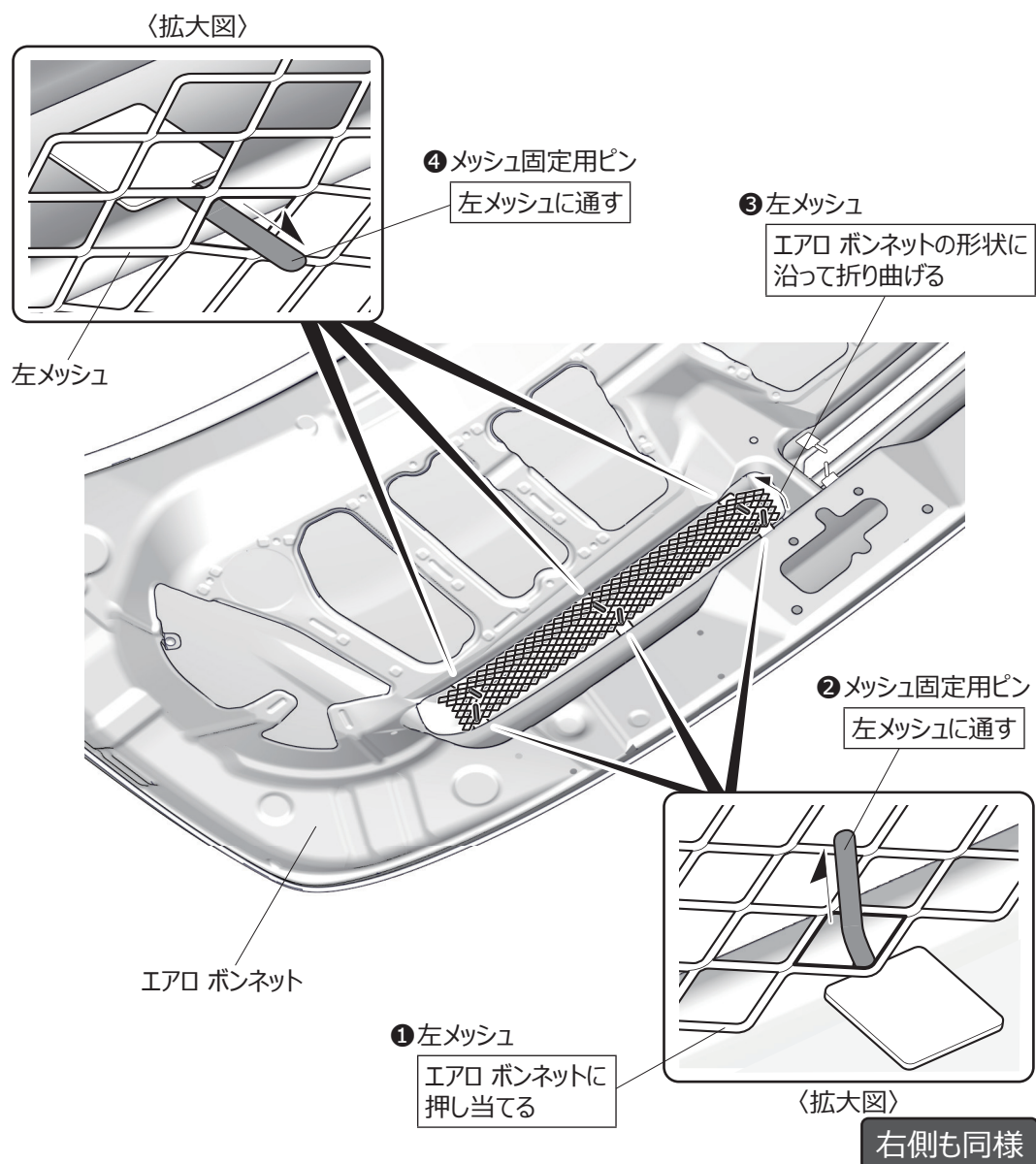
3. 左メッシュに付いている表裏識別シールを剥がす。

4. 左メッシュをエアロ ボンネットに取り付ける。

アドバイス

- ・ 表裏識別シールが貼ってあった面を表面に向けること。
- ・ 図に示す順番で作業すること。
- ・ メッシュは何度も折り曲げないこと。

〈裏面図〉

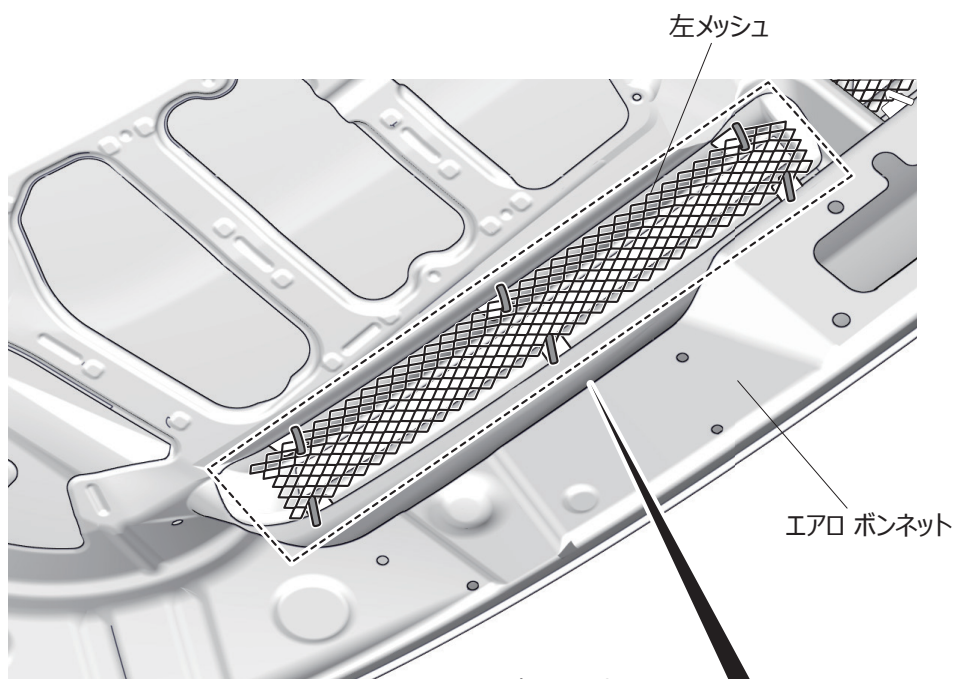


5. 左メッシュをエアロ ボンネットに固定する。

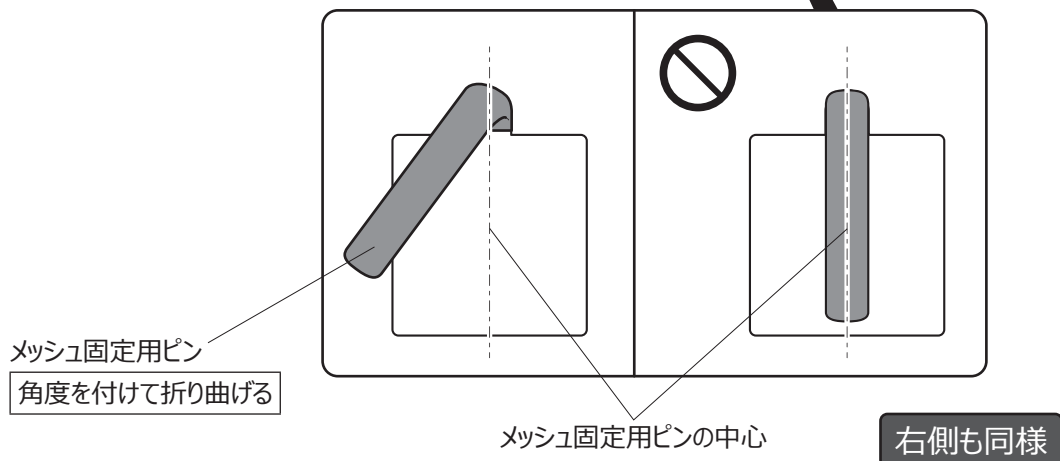
アドバイス

- ・メッシュ固定用ピンは根元から折り曲げること。
- ・メッシュ固定用ピンは何度も折り曲げないこと。

〈裏面図〉

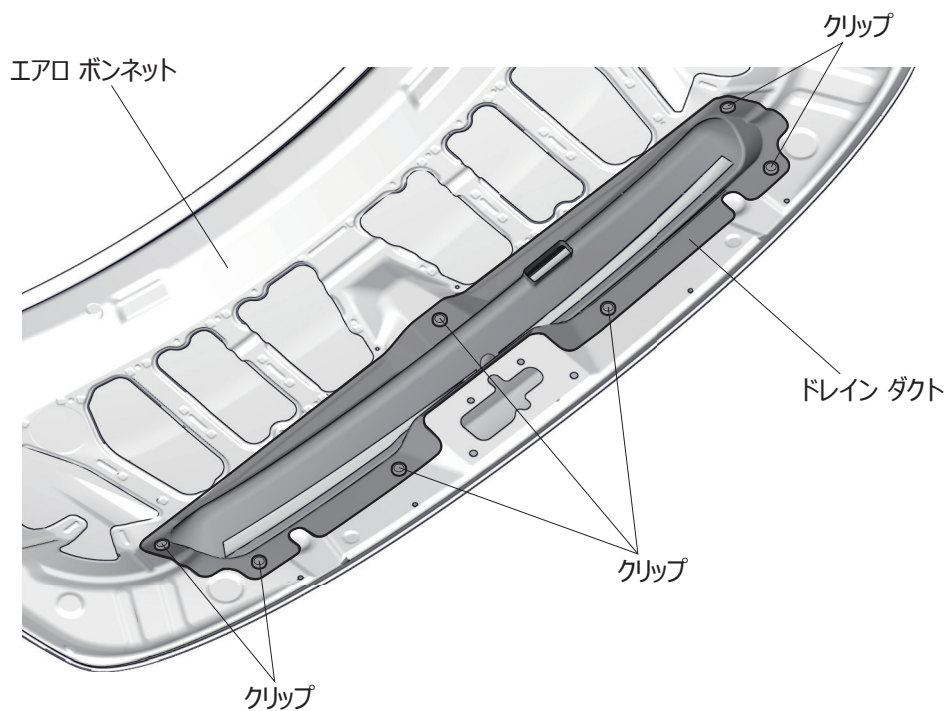


〈正面図〉



6. ド레인 ダクトをエアロ ボンネットに取り付ける。

〈裏面図〉

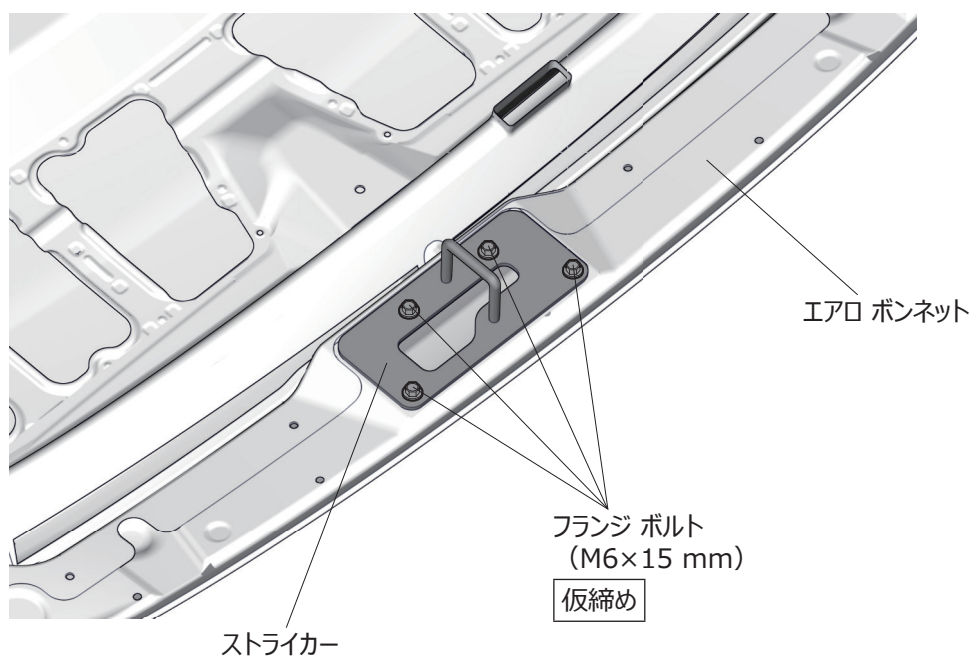


7. ストライカーをエアロ ボンネットに仮固定する。

アドバイス

- ・ フランジ ボルトは対角に仮締めすること。

〈裏面図〉

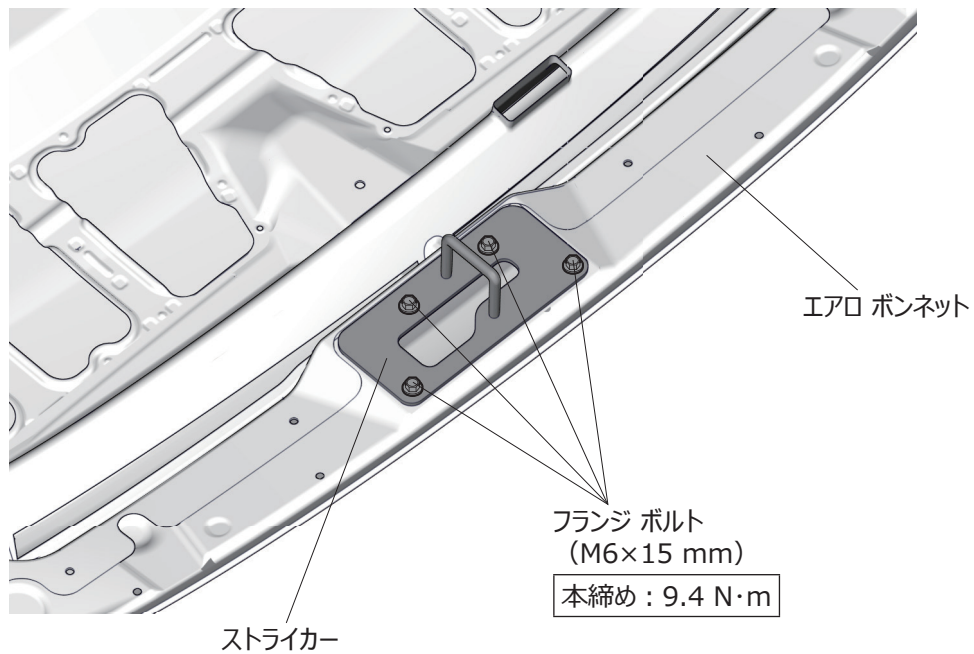


8. ストライカーをエアロ ボンネットに固定する。

アドバイス

- ・ フランジ ボルトは対角に本締めすること。

〈裏面図〉



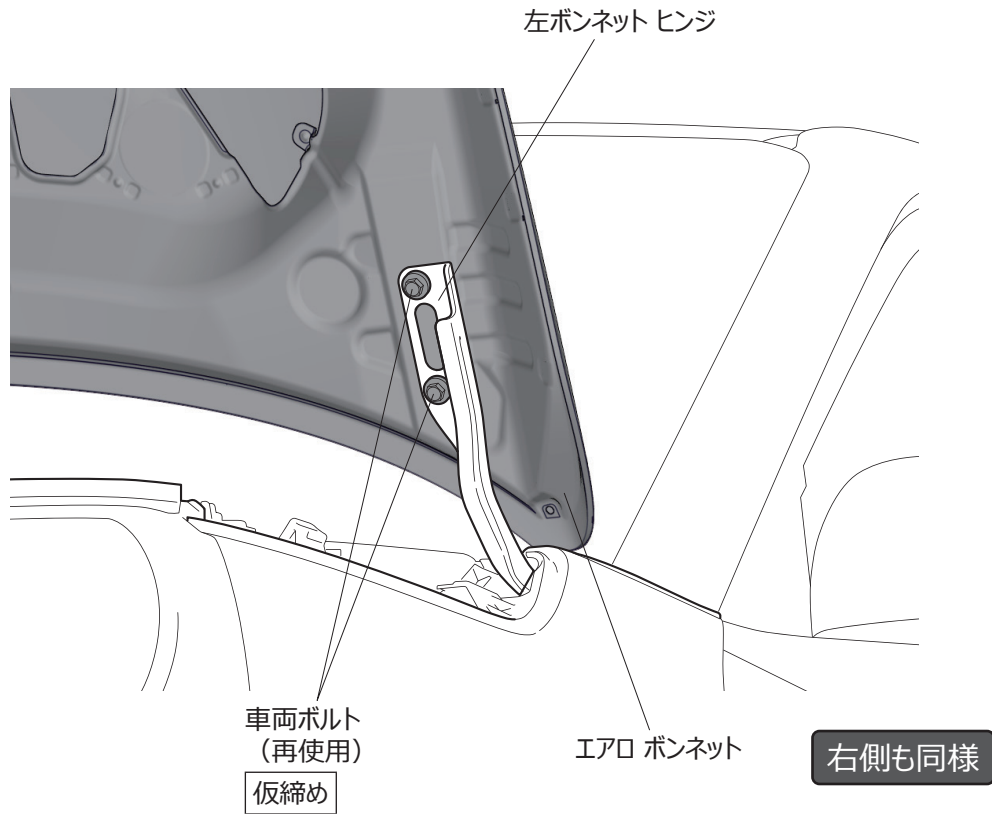
9. ボンネット ヒンジ (ボルトやボンネットの接触面) にタッチアップ ペイント (ボディ同色) を塗布する。

アドバイス

- ・ 十分に乾燥させること。

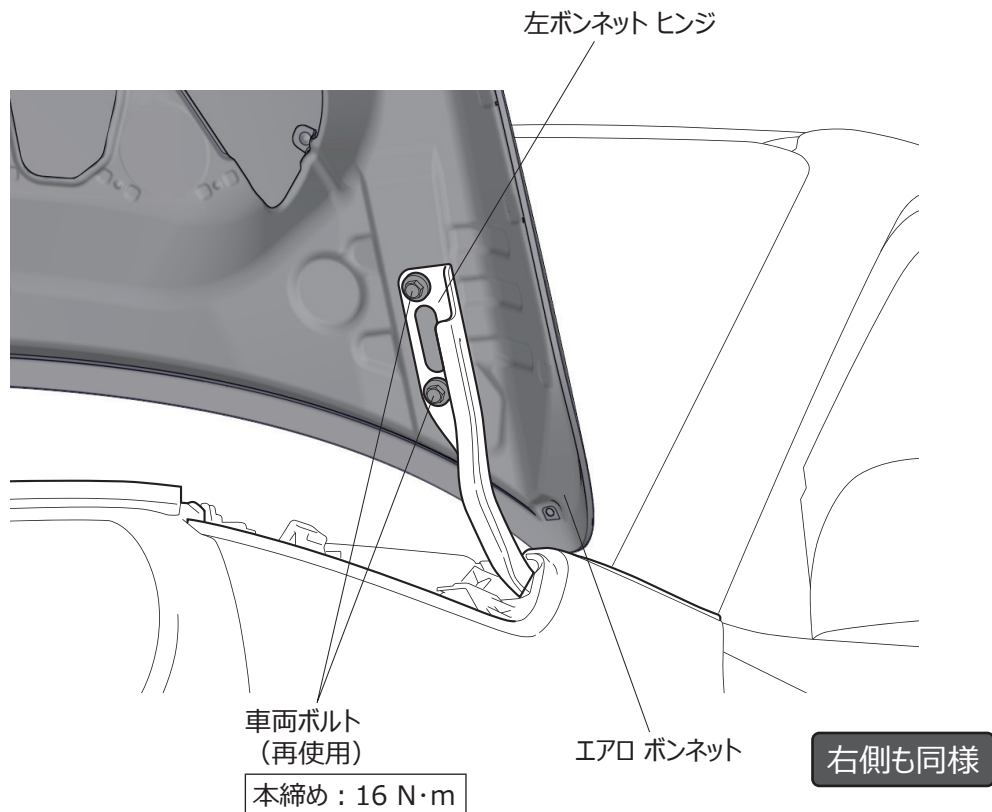
10. エアロ ボンネットを左ボンネット ヒンジに仮固定する。

〈裏面図〉



11. エアロ ボンネットが正常に開閉できることを確認する。
12. ストライカーのロックがかかりにくかったり、エアロ ボンネットとフロント フェンダーの隙間が不均一である場合は、建付け調整を行う。(サービス マニュアル参照)
13. エアロ ボンネットを左ボンネット ヒンジに固定する。

〈裏面図〉



14. 車両ボルト (再使用) にタッチアップ ペイント (ボディ同色) を塗布する。

アドバイス

- ・十分に乾燥させること。

15. 取り付け状態に不良がないことを確認する。